

郵便料への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

毎年11月1日に、「年賀はがき」が発売されます。今年には既に購入されましたでしょうか？近年、携帯電話やインターネット等の普及により、通信形態も大きく変化しているため、筆をとる機会が減っていると思います。それでも年賀のあいさつだけは、電子メールではなく、年賀はがきを出すという方はまだ多いのではないのでしょうか。そこで、今回は郵便料への支出について見てみましょう。

年賀はがきの購入は発売直後に集中

昨年11月1日前後の郵便料の支出金額をみると、年賀はがき発売日の11月1日は1世帯当たり平均135円、翌日2日は144円、4日は139円と11月上旬に支出が多くなっており、やはり発売直後の購入が多くなっているようです（図1）。

郵便料への支出は、世帯主の年齢とともに増加

次に、世帯主の年齢階級別に平成17年の1世帯当たり郵便料の年間支出金額をみると、世帯人員が多いこともあって、世帯主の年齢が40～49歳及び50～59歳の世帯で多くなっています。また、世帯員1人当たりにしてみると、世帯主の年齢が高い世帯ほど多くなっており、世帯主の年齢が70歳以上の世帯では、29歳以下の世帯の2倍以上となっています（図2）。

減少傾向の郵便料

最後に、11月の郵便料への支出金額の推移を見てみましょう。平成10年は、インクジェット紙のはがきが本格的に発売されたことなどにより、前年に比べて増加したものの、11年以降は減少傾向となっています。なお、平成17年の支出金額は、10年と比べて約2割減となっています（図3）。

* インクジェットプリンタ対応の年賀はがきは、平成9年に「コート紙」という名称で発売が始まり、翌10年に「インクジェット紙」に改めています。

図1 日別の郵便料の支出金額 - 平成17年

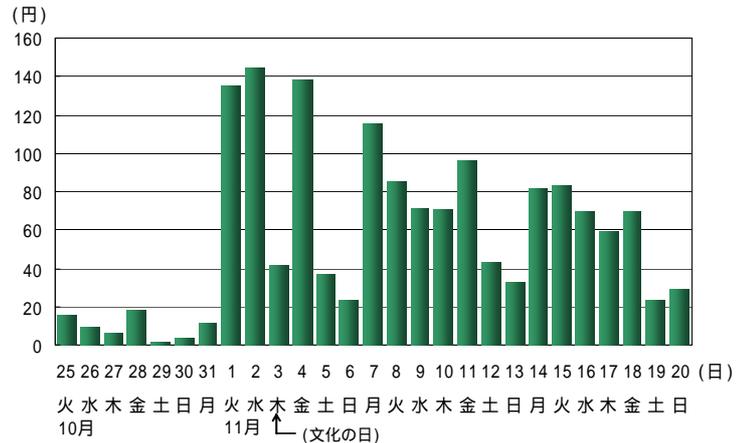


図2 世帯主の年齢階級別の郵便料の年間支出金額 - 平成17年

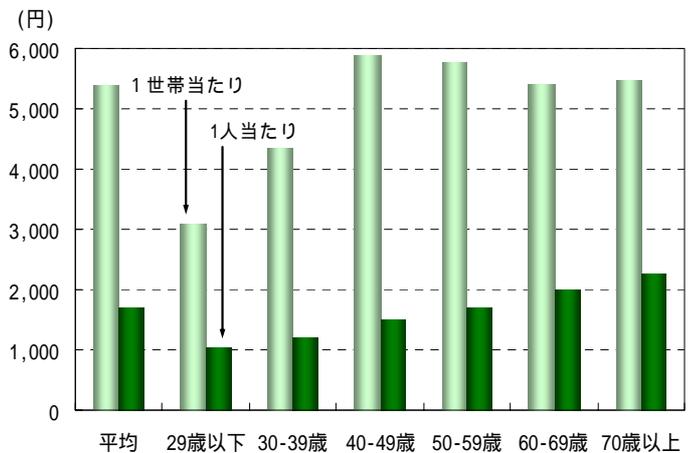


図3 11月の郵便料の支出金額の推移

